

8月号では、「お金のトラブルを避ける」についてご紹介しました。

今月は、「金融リテラシー」について、詳しく学んでいきます。

金融リテラシー調査（2022）の結果において、宮城県は47都道府県の中で40位

金融リテラシーとは、金融に関する知識や情報を正しく理解し、主体的に判断できる能力を指します。

このたび、金融広報中央委員会で実施している「金融リテラシー調査（2022年）」の結果が公表されましたが、宮城県は正答率52.9%で全国平均56.6%を下回り、47都道府県中40位という結果でした。

金融リテラシー調査は53問で構成されていましたが、今回は皆さんに、5問で構成されている「金融リテラシークイズ」の中から4問を抜粋してご紹介したいと思います。皆さんも、ぜひ確認してください。

問1	家計管理	家計の行動に関する次の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか。
① 家計簿などで、収支を管理する ② 本当に必要な、収入を考えた上で、支出を判断する ③ 収入のうち一定額を天引きするなどして貯蓄を行う ④ クレジットカードの分割払いを多用する ⑤ わからない		
あなたの回答		正解回答 ④
解説	クレジットカードの分割払いは手数料が発生するため、適切ではない。	
全国正答率	51.8%	宮城県正答率 52.4%

問2	生活設計	一般に「人生の3大費用」といえば、何を指すでしょうか。
① 一生涯の生活費、子の教育費、医療費 ② 子の教育費、住宅購入費、老後の生活費 ③ 住宅購入費、医療費、親の介護費 ④ わからない		
あなたの回答		正解回答 ②
解説	教育費用・住宅費用・老後費用は「人生の3大費用」といわれます。	
全国正答率	46.2%	宮城県正答率 44.7%

問3	金融知識	金利が上がっていくときに、資金の運用（預金等）、借入れについて適切な対応はどれでしょうか。
① 運用は固定金利、借入れは固定金利にする ② 運用は固定金利、借入れは変動金利にする ③ 運用は変動金利、借入れは固定金利にする ④ 運用は変動金利、借入れは変動金利にするわからない ⑤ わからない		
あなたの回答		正解回答 ③
解説	金利が上がっていくときには運用収入が増加するため、運用を変動金利にすることが適当。一方、借入れについてはコストの増加を避けるため、固定金利にすることが適当。	
全国正答率	43.4%	宮城県正答率 37.0%

問4	金融知識	10万円の借入れで借入金利は複利で年率20%の場合、返済をしないと何年で残高は倍になるでしょうか。
① 2年未満 ② 2年以上5年未満 ③ 5年以上10年未満 ④ 10年以上 ⑤ わからない		
あなたの回答		正解回答 ②
解説	「72÷金利÷お金が2倍になる年数」。この算式に当てはめて計算すると、「2年以上5年未満」	
全国正答率	40.8%	宮城県正答率 35.0%

いかがだったでしょうか。宮城県金融広報委員会のホームページでは、金融リテラシー調査や金融リテラシークイズのほか、eラーニング講座「マネビタ～人生を豊かにするお金の知恵」についてもご紹介しています。ぜひ御覧ください。 <https://www.shiruporuto.jp/>

